

会議結果

次の附属機関等の会議を下記のとおり開催した。

附属機関等の名称	令和2年度第1回みよし市まち・ひと・しごと創生会議		
開催日時	書面開催		
開催場所	—		
出席者	(創生会議構成員) 丸山一芳、阿部亮吾、岡本貞之、岩田信男 鱒部兼道、野村 浩、湊 裕、伊藤欽治 野田一弘、二子石勝、竹内友基、岡澤圭悟 加藤亮二 ※敬称略 ※構成員に対して、意見徴収を行った。		
次回開催予定日	令和2年10月頃		
問合せ先	政策推進部企画政策課 担当 押領司 電話番号 0561-32-8005 ファックス番号 0561-76-5021 メールアドレス kikaku@city.aichi-miyoshi.lg.jp		
下欄に掲載するもの	<ul style="list-style-type: none"> ・議事録全文 ・議事録要約 	要約した理由	
審議経過	【議 題】 1 第1期まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証について 2 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略策定について 【結 果】 別紙のとおり意見が提出された。提出された意見を鑑みた第2期みよし市まち・ひと・しごと創生 人口ビジョン・総合戦略を策定する。		

「みよし市まち・ひと・しごと創生総合戦略」意見提案書取りまとめ

◆提出された意見（6名分）

1 第1期まち・ひと・しごと創生総合戦略の検証についての意見

頁	項目	意見
2	総合戦略数値目標KPIの 検証1	安全で快適な住環境の満足度が33%で最低であったが、これは公共交通対策の満足度がそのまま反映されたのではないかと考える。質の向上が必要である。
3	総合戦略数値目標KPIの 検証1	②生きがいつくりの支援に関して、生涯学習講座数の充実に対し、受講者数が減少している要因の1つに、地域住民への周知・PR不足が考えられるため、高齢者向けの情報提供の場（就活フェアなど）を増やしてはどうか。
4	総合戦略数値目標KPIの 検証2	各基本目標のR元年度末の満足度がH26基準値をすべて下回っている。H26の基準値がどのようなものであるか。それぞれがアンケート調査であるとする、項目に大きな違いがあるのか。
5	総合戦略数値目標KPIの 検証2	今までにない視点として、働く場が豊富（市内に事業所も多い）という市の強みを踏まえ、昨今のコロナウイルスを始めとした感染症などへの企業としての対策を含む「防災」をテーマとした企業向けの取り組み（BCP等）も加えたらどうか。
5	総合戦略数値目標KPIの 検証2	「Ⅱ暮らしたいと思える環境づくり」の「安全で快適な住環境」に関する項目の評価（満足度）が特に低い。ここをクリアするためには、駅前地区の商業・生活機能の活性化が欠かせないのではないか。
5	総合戦略数値目標KPIの 検証2	みよし市において、目指すべき「交流人口」とは、どこから来た人が、誰と交流することを念頭においているのか。例えば南部地区の農業資源を交流資源として想定することはあるか。
5	総合戦略数値目標KPIの 検証2	「AIやSociety5.0の視点」に関連して、東海学園大学経営学部では経営情報論を専門とした実務経験を有した博士が2020年4月より在籍しているため、こういった教員リソースを活かして政策形成などにおいて大学と連携してはいかがでしょうか。

5	総合戦略数値目標KPIの 検証2	「SDGsの視点」に関連して、みよし市と東海学園大学の学生や教員とより連携を密にしてSDGsの普及活動を推進し、「持続可能なまち」をシビックプライドに繋げてはいかがでしょうか。
5	総合戦略数値目標KPIの 検証2	方向性の4つ目 シビックプライドの醸成とは。またそれが長期的な人口の安定とどう結びつくのか。
6	総合戦略数値目標KPIの 検証2	コロナウイルスによる一般的な働き方の変化（在宅勤務等の推進）により、在宅勤務がしづらい子育て家庭や共働き家庭への、近所のワークスペースの提供や夫婦で在宅勤務できる住宅設計等がクローズアップされている。みよし市でも同様のことが起きているのであれば、（空き家の有効活用など）検討できないか。
6	総合戦略数値目標KPIの 検証2	企業向けの施策に関して、テレワーク推進企業の発掘だけでなく、地域企業を対象にしたテレワークを始めとする新たな生活様式を踏まえた制度導入に向けた取組を追加する必要があるのではないかと。 (今までにはない視点として方向性に位置づけしている、新しい生活様式の色を濃くする施策が必要である。)
6	総合戦略数値目標KPIの 検証2	MaaSの推進において、具体策の1つとして「さんさんバス」等のオンデマンド化を検討してはどうか。 ※利用者数は目標以上であるが、満足度が低い ※人口流出入によると、県内における転出入が多くあり、通勤しやすい等の利便性の向上が理由の1つでないかと考えられる。 ※医療・福祉従事者も多く（特に女性）、コロナ対策としての医療従事者向けオンデマンド等の検討は考えられないか。
6	総合戦略数値目標KPIの 検証2	安全・安心なまちづくりでは「交通安全」や「安全運転意識の醸成」に資する取組も幅広い世代に対する検討施策の1つになり得ると考えられる。 ※テレマティクス技術を活用した安全運転推進イベント開催に伴う支援・講習などが可能

6	総合戦略数値目標 K P I の 検証 2	みよし市に暮らしたいと思える環境整備のために、例えば駅前地区にアグリパーク（農産物直売所）を設立して地産地消体制を構築するとともに、保育所を作って電車で通勤する人の保育機能を向上させる。また、IT環境を整えたコワーキングスペースを設置してテレワーク環境やNPO法人・新規起業家のインキュベーター施設を提供したり、高齢者や子どものフリースペースを作るなど健康と子育ての機能の充実を図る。自由に使える駐車場をつくり、駅と直結させることでパーク・アンド・ライド機能を持たせる。特に、将来的によりいっそう高齢化が進んだ場合、徒歩500m圏内で新鮮な食材が手に入らない「フードデザート問題」が発生する可能性がある。そうした問題を解決するための多機能施設を駅連動させるという発想が必要ではないか。
6	総合戦略数値目標 K P I の 検証 2	転入人口の向上に資するために、大学生の居住機能を高める目的で、三好丘団地内の空き部屋を安く提供するなども考えたらどうか。
6	総合戦略数値目標 K P I の 検証 2	「地域スポーツ振興事業」に関連して、東海学園大学経営学部ではスポーツ政策論・スポーツ経営論を専門とした地方公共団体での実務経験を有した教員が2020年4月より在籍しているため、こういった教員リソースを活かして政策形成などにおいて大学と連携してはいかがでしょうか。
6	総合戦略数値目標 K P I の 検証 2	「健康アプリ」の開発などに関連して、例えばアプリと連動したウォーキングイベントを行い、東海学園大学からも参加して、地域コミュニティの形成を促進してはいかがでしょうか。
6	総合戦略数値目標 K P I の 検証 2	合計特殊出生率の向上について、子どもが多いほど「得」する施策が必要ではないか。
6	総合戦略数値目標 K P I の 検証 2	市内教育施設（学校）の魅力向上を追加 三好高校や東海学園大学への支援

2 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定についての意見

頁	項目	意見の内容
1	人口ビジョン	<p>みよし市の居住可能人数は何人か。 2038年65,000人に到達した際の世代別割合は。 長期的に人口減が見込まれるのであれば、出生率2.07を目指すべきではないか。</p>
全般	SDGs全般	<p>SDGsの視点の盛り込み方については、資料のとおり、自治体を実施する施策の紐づけも重要である。一方で地域企業のSDGsへの意識付け（SDGs宣言等）やSDGs教育の普及など、広く発信していくことが必要である。基本目標の施策にこのような要素を入れ込むことも検討できるのではないか。</p>
5	「2030年までに達成すべき17の目標」と「第2期総合戦略基本目標」との関係	<p>「2030年までに達成すべき17の目標」と「第2期総合戦略基本目標」との関係が示されているが、「海の豊かさを守ろう」がどうかかわるのか。他の項目もグローバルすぎて、3つの基本目標に分けるのは難しいのでは。</p>